



広報 第九号

さくら前線

「大地に根を張り、青々と繁り実る、
老健らしい老健」を目指して



介護老人保健施設 橋苑
顧問兼医師 清藤 大輔

老健橋苑は今、じつに成長めざましい、注目すべき頑張り屋さんチームです！皆さま、橋苑をぜひ応援よろしくお願いたします。

老健橋苑は現在、「橋苑、在宅復帰にチャレンジ！」を掲げて、職員一丸となって「(超)在宅強化型老健」を目指しております。しかしそれは、決して簡単な道のりではありません。なぜならそれには、在宅復帰率 50%超、ベッド稼働率が10%以上など、まことに厳しい条件をクリアせねばならないからです。ちょうど一年前、さくらライフ橋苑として再出発するまでは、橋苑はいわゆる「従来型」の老健でしたが、それからハメキメキと職場改革に取り組み、今では日々、現場にては要介護の方々の自立支援と病状安定に真剣勝負で汗

を流す一方、家庭で介護される家族の方々の、在宅介護の不安や負担にお応えする家族支援に、全員で笑顔いっぱい取り組んでいます。

ハードな仕事ながらも笑顔で、かつ真剣に取り組めるようになった最大の理由は、職員の一人ひとりが、この職務改革をとおして、「老健という職場の素晴らしさ」に目覚めてやまないからでしょう。

人間は、自ら学ぼうとすることしか、決して身につけることはできないものですが、橋苑の職員の皆さんの、「変わるんだ！」という前向きでひたむな思いは本物でした。その真剣な仕事ぶりには、心打たれずにはいられません。

老健は、地域の在宅介護の問題に「ワンストップステーション」としてお応えする、「大規模多機能施設」です。お家に帰って頂いた後は、一生涯フォローアップを続け、必要なタイミングで何度でも「出たり入ったり」を繰り返し返して頂きます。入所中は、リハビリテーション施設として、自立支援と病状安定に注力。ご本人もご家族も「リフレッシュ」して帰って頂きます。ご自宅ではデイケアとショートステイなど、サービスを駆使して在宅生活を応援いたします。生涯別宅のように繰り返しご利用頂き、最後はお看取りまで。これが、橋苑が

「地域循環型老健」として、地域のお役に立つ姿です。要介護や認知症でも、ご家族とともにご自分らしく、あられますよう、「自立支援を基本とした当たり前の生活づくりを、住み慣れた自宅・地域で最後まで」を施設理念として邁進して参ります。それが、「大地に根を張り、青々と繁り実る、老健という地域ケアシステムの拠点」へとひた走る一歩ずつである、と信じております。

今後とも、橋苑を何卒よろしくお願い申し上げます。

施設紹介 『橋苑について』



橋苑は東京都練馬区に平成二十三年四月に開設されました。周辺には姉妹施設となる第二橋苑。グループホームのあすかの里、第二あすかの里、医療療養型病院の練馬さくら病院があり、病院、各施設と連携し、地域の医療・福祉・介護に貢献できるよう取り組んでおります。

● 介護老人保健施設とは

主に医療ケアやリハビリを必要とする要介護者が入居する施設です。食事や排泄、入浴介助といった介護サービスを提供致します。病院、老人ホームと自宅の中間的な役割をもっており、在宅復帰を前提としたリハビリが中心となります。医師、看護師も常駐しております。



新型コロナウイルスの検査について

こんにちは。春日部さくら病院 検査科です。
現在、新型コロナウイルスの検査についてメディア等でいくつかり取り上げられています。それぞれの検査について解説します。

【PCR検査】

PCRとはポリメラーゼ連鎖反応(Polymerase Chain Reaction)の略で、遺伝子を増幅させて検出する方法です。新型コロナウイルスだけでなく、結核菌や肺炎ウイルスなどの感染を調べるために従来から実施されている検査方法です。新型コロナウイルスの検査としては、鼻や咽頭を拭いて細胞を採取して検査を行います。発症から9日以内であれば唾液からの検査も可能です。PCR検査は新型コロナウイルス感染症の確定診断に用いられており、この検査で陽性判定が出た場合は新型コロナウイルスに感染しているということになります。ただし、検査には様々な過程があり熟練した検査技師が必要で、試薬を反応させるための高価な機械も必要です。また、結果が出るまでに数時間かかります。

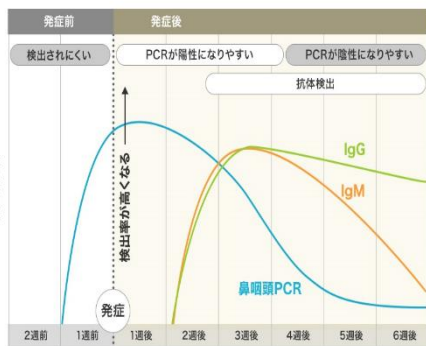
【抗原検査】

PCR検査が遺伝子を増幅して検出するのに対し、抗原検査は新型コロナウイルスに対する抗体を用いて抗原を検出する方法です。PCR検査とともに、新型コロナウイルス感染症の確定診断に用いることができます。調査研究の結果、発症2〜9日目では抗原検査とPCR検査の結果の一致率が高いことが確認されました。そのため、症状の出現から2〜9日目にこの検査で陰性となった場合には、その時点では新型コロナウイルス感染症ではないと診断することができません。抗原検査は特別な検査機器や試薬を必要とせず、検査キットで30分程度で結果が出ます。ただし、目的物を増幅させて検査することができないため、検出にはより多くのウイルス量が必要となります。そのため、無症状者のスクリーニング検査の目的では使うことができません。

【抗体検査】

PCR検査と抗原検査がウイルスそのものの有無を調べる検査なのに対し、抗体検査はウイルスに感染した人の体内で作られた抗体を検出する検査です。つまり、抗体検査はその人が過去に感染したことがあるかを調べることができます。すなわち、おたふくなど感染症の種類によっては一度感染して体が陽性になれば二度と罹らない(終生免疫)とされていますが、新型コロナウイルスの場合一度罹ったからといって今後新型コロナウイルスに係らないかどうかはまだはっきりしていません。

※当院では現在のところいずれの検査も実施できませんのでご了承ください。



あいわデイサービスセンター

こんにちは。あいわデイサービスセンターです。
今年新型コロナウイルス対策のため、ご利用者様には来所前・中の検温やマスクの着用、こまめな手洗いと消毒の徹底など、協力していただいております。
また、職員も基本的な予防対策として、一日三回のフロア内の消毒や一時間に十分間の換気、こまめな健康観察などを行っております。

ご利用者様の一番の楽しみは、外部ボランティア等の来訪、外出機能訓練の買い物や食事会・お花見等です。それらが全て出来なくなったことは、ご利用者様だけでなく私たち職員もショックな出来事でした。その中で、どのように充実した日々を送っていただくかが大きな課題となりました。そこで、通常の日課の中でも接触の多いレクリエーション内容やマンサージ等を、ソーシャルディスタンスの面から見直し、今までは違った方法で工夫し行っております。

そんな職員に、ご利用者様から『職員さんたちは大変だね、でもデイサービスに来ることが、本当に楽しんだよ。いつもありがとうね。』とのお声をいただきました。それからは、何か特別なことをするのはなく、新型コロナウイルス感染予防を徹底し、安心して利用して頂くことが第一と心掛けています。

先月は、感染に気を付けながら夏祭りを開催しました。例年と違った方法でのゲームや軽食などお祭り気分を味わいました。来月は、運動会を開催する予定です。コロナ禍の中でも少しでも身体を動かし、思い出が残る運動会をと、只今企画中です。

～診療案内～

診療担当医師表は受付窓口にて配布しております。
必要な方はご遠慮なくお申し付け下さい。
また随時ホームページにて休診案内を更新していますので、そちらもご確認下さい。
お問い合わせ番号 (048-746-7071)

HP アドレス

(<http://www.k-sakurahosp.com/>)

HP QR コード →



診療担当医師表 QR コード →

